



千八百七十八年三月九日發兌
「チャツパン、夕井ムス」新聞抄譯

日本通貨ノ下落ヲ論ス



4247



414
A 3467



日本通貨ノ下落ヲ論ス

大正十一年四月

堀口昇 譯

日本ノ貿易及ヒ之ニ係ル日本政府ノ政略如何ニ注
目スル所ノ日本在留ノ同国人亦ト共ニ日本紙幣ノ價格ニ於テ
輓近奈起セル動搖ヲ恠々看守セリ然レモ我輩ノ見ル所及ヒ推
究スル所ノ決定ハ横濱及ヒ東京ノ日本新聞及ヒ外国新聞ノ記
者ボノ所見及ヒ決定ト大ニ異ナル所アリ我輩ハ曾テ昨年一月
日本政府ノ大藏卿カ公告シタル會計表ヲ一覽シタルハニ當テ
左事ヲ記載スルノ機會ヲ得テ之ヲ紙上ニ登錄セシ如ク千八百
六十九年以來日本國理財ノ主義ニ關シテ昏報セラレタルモ
ハ皆報道者ノ計算ニ於テ緊要ナル根拠タルハキ事項ヲ殆ト
全然看過シタルヲ以テ見ル可キモノナキナリ日本新聞ノ記者
ボハ仮令其記憶ヲ文庫ヲ總テ經濟學士ノ著書ヲ以テ充備スル
下能ハサルニモセヨ少シク經濟ノ道ヲ心得アル可キ譯ナルニ

大蔵省

彼ボハ経済学ノ初歩タモ會得シタリト云フ能ハサルナリ是ニ
反レテ外国ノ新聞記者ボハ彼令アタムスミスリカルドヨル
エブチンゴスレユニ^レ及ヒダオルトルバジホツト氏ボノ著昏ヲ
益ク奉ナ其腦裡ニ修理セスト虫モ以上ニ掲ケタル教氏ノ著昏ヲ
ノ如キハ見下シテモ昏キ綴ル丈ケノ腕臂ヲ有スルト云ル誰
カ然ラスト云フヲ得ンヤ凡ソ食物ノ價格ハ貨幣ノ價格ヲ量
測スヘキ真ノ準規タルトハ固ヨリ日本ノ新聞記者ボノ眼鹽ヲ
漏脱シタリト虫モ如何ンシテ此ノ如キ淺薄ノ真理カ彼ボノ眼
睛ニ入ラザリレヤハ更ニ吾輩ノ解セサル所ナリ我輩ハ昨年モ
我紙上ニ於テ指示シタル如ク日本ノ新聞記者ノ経済ニ拙ナル
実情ハ政羅巴ノ理財法ヲ以テ先時ノ日本理財ノ景況ニ適用セ
ンコハ全ク能ハサルカ如ク日本人民ノ事情經歷習慣好惡及ヒ
思想癖ハ政羅巴諸國ノ事情經歷習慣好惡及ヒ思想癖ト異ナル

所ニルニ日本ノ新聞記者ハ總テ至当ノ注意ヲ為カ、ルノ故ナ
リ我輩カ今日維新以前ノ諸大名ノ紙幣ニ係ハル(ノヲ)ニト
クエリ(ス)ノ題名ヲ以テ印刷シタル最モ注目スヘキ摘撮昏ニ
一閱ノ勞ヲ費サハ日本國ノ人民ハ實際引換ナキ拂フヘキ契約
昏即チ紙幣ヲ如何ニ久シク慣用シタルカヲ知ルコトヲ得ヘシ
我輩ハ此七八年ノ間日本國ノ理財家ボニ頻リニ理財ノ大道ヲ
教授センコトヲ試ミタル外國教師ノ勤勞ヲ充分高價ニ評スルモ
教師ボハ全ク其勤勞ヲ徒費シタルモノト云ハサルヲ得ス何ト
ナレハ彼教師ボカ教授スル所ノモノハ全ク今日ノ政羅巴ニ適
用スヘキモノニシテ日本國ニハ今ヨリ三十年モ經過セカレハ
決シテ施行スヘカラサルモノナレハナリ
外國ノ高價ハ多ク輸出入ノ兩技ニ從事スルヲ以テ墨西哥
ルラ^ルノ價格ニ於テノ動搖ハ更ニ外國ノ高價ニ關係セス請フ

試ニ二十年以前ニ既ニ横濱ニ於テ僅言ノ如クナリタル一語ヲ
爰ニ引証セン外國ノ高價ハ衣服ニ於テ損スルモノハ之ヲ骨ニ
於テ得ルト日本紙幣カ低價ナル時ハ輸入物ハ進次ニ減ス然レ
共生糸及ヒ茶ハ容易ク購求スルヲ得是ニ反シテ日本紙幣ノ
高價ナルキハ輸入物ハ速カニ増加ス然レ共生糸及ヒ茶ハ容易
ク購求スルヲ能ハス故ニ日本紙幣ト正金トノ間ノ適度ノ差異
ハ更ニ外國ノ高價ニ関ハル所ナシ又此六七週期ノ間ニ日本紙
幣カ蒙リタル非常ノ下落ハ四季ノ中ニ於テ當季ノ如ク貿易ノ
寐入りタル季節ノ外ニ起リタルヲナシ故ニ其非常ナル下落ハ
大ニ季節ノ然ラシムル所ナリ

此ボノ事ハ該新聞紙外國手啓ニ向テ指示スルヲ要セ又所ナ
リ又外國ノ兩替師ハ蓋シ東京ニ於テノ相場師輩ト横濱ニ於テ
ノ高價ノ支配人ボカ現時貨幣市場ニ恣有スルヲヲ熟知ス

ルニ然レモ我輩カ治匠センカ為メニ心ヲ勞スル所收ノモ
ノハ日本新聞ノ記者ボカ自ラ危懼ノ念慮ヲ生シ其危懼ノ
ヲシテ日本政府及ヒ人民ニ漸々移傳セシメントスル其危懼ノ
念慮是ナリ若シ日本ノ新聞記者ボカ左ノ條ヲ知覺シ之ヲ腦裡
ニ収メタラシニハ此危懼ノ念慮ヲ消散スルハ容易ノ事項ニシ
テ敢テ難シトスルニ足ラサルナリ
今日一円ノ紙幣ヲ以テ内國ノ市場ニ於テ米ナリ魚ナリ野菜
ナリ勤勞ナリヲ購求セニ嘗テ六週期以前一円ノ紙幣ヲ
以テ購求スルヲ得タル米或ハ魚或ハ野菜或ハ勤勞ノ嵩量
ニ違ハサル米魚野菜勤勞ノ嵩量ヲ得ルノ間ハ即チ紙幣カ米
魚野菜勤勞ト同ボノ價位ヲ保持スル明証ニシテ仮令紙幣カ
日本國內ヲ通用セサル外國貨幣或ハ日本正金ト同等ノ價位
ヲ保持スルモ或ハ保持セサルモ内國人民カ正金ノ為メニ紙

幣ノ為メニ共フルヨリモ別ニ多量ノ米或ハ魚或ハ野菜或ハ
勤勞ヲ共ヘサル以上ハ更ニ配慮スルニ及ハサルナリ
我輩カ觀察ヲ益シタル所ニテハ日本紙幣ノ價格動搖ハ只ニ開
港場ニ於テ外國貿易及ヒ之ニ從事セル外國商人及ヒ日本商賈
ニ映響ヲ生シタリト雖モ日本内地ノ食物市場ニ於テハ僅少タ
リト雖モ映響ヲ生シタリトハ思ハレサルナリ抑モ物品ノ價格
トハ物品カ已ニ換ヘテ得ル所ノモノヲ云フナリ昨年一斗ノ白
米ヲ購求シタル一斗ノ紙幣ヲ以テ今日モ尚ホ囊ニ一斗ノ白米
ヲ入ル、一ヲ得バ一斗ノ紙幣ハ即チ其價格ヲ更ニ損スルナ
ク然トシテ其旧價格ヲ保持スルナリ故ニ日本ノ新聞記者オハ
危懼ノ念慮ヲ生スヘク如何ニテ原因ヲモ保タサルナリ
然レモ我輩カ危懼スル所ハ日本ノ新聞記者オカ日本人民
痛ク自ラ報國誠志ノ人トシテ將ニ迴避センコトヲ求ムル所ノ害

即ニ騷擾ヲ却テ之カ為メニ醸生シ来ランコト是ナリ日本ノ新聞
紙ハ僅カニ數年ノ間ニ非常ノ盛大ニ至レリ而シテ尚ホ其
盛ニシテ月ニ其勢力ヲ增加ス然レモ其記者ハ日ニ月ニ己ノ肩
上ニ累積スル責任ノ巨大ニシテ追次増崇スル重量ヲ辛フシテ
知ルモノト云フヘシ何レノ因ニ於テモ人民ノ大衆ハ實ニ無識
ノモノナリ而シテ生識者ハ概テ正シキ本性ノ示教ヲ信セシ
テ常ニ不正ナル己ノ説ニ依テ己ノ所為ヲ行フカ故ニ凡ソ生識
者ヨリモ無知ノモノハ非サルナリ而シテ人民中ノ此オノ人物
ハ最モ容易ク新聞ノ為メニ動搖セラレ生マナカ之ヲ讀下スル
コトヲ得ルカ為メニ更ニ新聞紙ヲ讀ムコト能ハサル隣人オチ教唆
スル如キ最モ危險ナル勢力ヲ得ルモノナリ夫レ都府ノ新聞紙
ハ勿論諸縣ノ冠タル新聞紙カ日々ニ其紙面ニ於テ類ニ紙幣ヲ
損下シ騷擾及ヒ全國ノ破産ヲ生スヘシト前言スルハ夜カ目

ニ続ク如ク新聞紙ヲ見聞スル者ハ漸々新聞紙ノ云フ所ヲ信シ
新聞紙ヲ讀ムヲ能ハスト蚤モ之ヲ聞クヲ得ヘキ隣人オモ亦
夕將ニ騷擾ノ来ラシムヲ信シ必スヤ真ノ騷擾ヲ来タスハ是亦
夕自然ノ勢ナリ故新聞紙ハ即チ英國新聞ナリ而シテ新聞ノ自
由ヲ鉅制センヲ主張スルハ自ラ耻ル所ナリ然レモ日本政府
ノ紙幣ヲシテ佛蘭西アスシ紙幣及ヒ垂未利加グリエンベッ
ク紙幣カ至リタルカ如キ景況ニ至ラレメンヨリハ寧ロ日本政
府カ日本新聞記者ボノ貨幣ノ事項ニ係ハリ妄ニ論議スルヲ禁
制スルノ布告ヲ發行スルノ愈レルニ如カサルナリ而シテ最モ
勢カアル新聞記者ノ教人ヲ選拔シ此輩ニ經濟昏中最も能ク憑
據ト為スヘキモノヲ選ケ十二月ノ間便宜ノ場所ニ込メ置キ此
輩カ其昏ヲ詳密ニ穿鑿ヲ遂ケタルマテ。隨意ニ出ルルヲ許シ
ル。トヲ得ハ此輩モ新聞ノ看客モ亦タ一般ノ人民モ大ニ益ス

ル。然レニ我輩以上ニ掲ケタル日本新聞紙ノ批評ニ於テ一
取り除クヘキモノアルトシ我新聞紙ノ外国看客ニ報道スル
ヲ得ルハ歡喜ニ堪ヘサル所ナリ東京印刷ノ貿易新聞紙ニシテ
諸方ノ相場及ヒ貿易電報ヲ報知レ後來日本國ノエゴノミスト
倫教新ト為ラシ欲スル中外物價新報ノ記者是ナリ本月六日印
刷ノ中外物價新報中ニ掲ケタル墨西哥ドルラ騰貴ノ原因ト
題シタル社説ニ於テ記者ハ紙幣ノ下落シタル原因ノ若干ヲ詳
述シテ危懼スヘキ原因アリトノ説ヲ駁撃セリ我輩ノ所見。由
レハ仮令其記者ハ未タ其主意ヲ尽サス又前キノ紙幣發行ノ結
果ニ適宜ノ注意ヲ為シ。リシト蚤モ其記者カ今我輩ノ論述ス
ル所ノ義論ヲ諱補スルヲ僅少ニ非ラサルナリ日本政府カ此新
聞紙ヲ返ク世上ニ公布セハ大ニ益スル所アルヘシ我輩ハ全ク

其社説ヲ翻譯スルノ閑暇ヲ得サリシヲ以テ更ニ次節ニ於テ新
報記者ヲ看察ニ示シタル自他ノ社説ト共ニ之ヲ看察ニ示サシ
ト欲ス然レ氏先ツ彼説ノ所ノ要旨ヲ左ニ譯述セン
以下中外物價新報ノ翻譯ナレハ之ヲ略ス

